

日本政策金融公庫農林水産事業からのお知らせ ーその55ー

広島県の酪農家の皆様へ

このコーナーでは日本政策金融公庫から、酪農家の皆様の経営に役立つ情報を提供して参ります

TOPIC 牛舎の換気方法を工夫し快適な飼養環境をつくりましょう！

公庫では、農業の最新技術を研究してきた「テクニカルアドバイザー」が、酪農や稲作など、各農業分野の最新技術情報を「技術の窓」としてまとめ、皆様にご紹介する活動も行っています。

今回は「厳寒地における乳用牛舎の換気方法」についてご紹介します。

これまで厳寒期における乳用牛舎の適切な換気量や換気構造、換気方法に関する情報が不足していたため、牛舎内の凍結や結露の発生、換気のための開口部からの雪の吹き込みなどの問題が発生しています。そこで、北海道立総合研究機構根釧農業試験場では、厳寒期の牛舎の実態調査をもとに換気構造が牛舎内の温湿度環境に及ぼす影響を明らかにし、適切な換気量と厳寒期に対応する換気構造や換気方法を示しましたので紹介します。

☆ 技術の概要

1. 自然換気牛舎であるフリーストール牛舎およびフリーバーン牛舎において、棟開口部を閉鎖し、軒開口部がない牛舎では、牛舎内の絶対湿度が高く、結露の発生や構造材の腐食が顕著でした。また、開口部が大きい牛舎では、舎内温度が -3°C 以下となり、凍結の問題がありました。そのため、牛舎内の換気量を5～6回/hr程度にして、牛舎内が凍結しない温度(-3°C 以上)で、湿度をできるだけ低くする必要があります。
2. 換気を行わない「つなぎ牛舎」では、舎内温度が 4°C 以上で推移し、凍結の問題はありませんが、絶対湿度が高く、結露の問題がありました。そのため牛舎内の換気量を4～5回/hr程度にして、牛舎内が凍結しない温度(4°C 以上)で、湿度をできるだけ低くする必要があります。
3. 自然換気牛舎における軒および棟の開口幅は、牛舎の間口3mにつき4cmが適当で、雪の吹き込み対策には、開口部に防虫ネットや吹き込み防止板を設置するのが有効です。
つなぎ牛舎ではトンネル換気が望ましく、複数台の換気扇を低速で連続回転させ、換気量は換気扇からの排出空気の風速に基づいて調節します。



写真1 自然換気牛舎の軒開口部



写真2 自然換気牛舎の棟開口部



写真3 トンネル換気牛舎

☆ 活用面での留意点

根釧農業試験場のホームページには、牛舎寸法、収容頭数、牛群の平均月齢、外気温湿度および舎内温湿度を入力すると「水分収支法」により牛舎の換気量や絶対湿度が計算できる計算シートを掲載しています。

詳しくは、北海道立総合研究機構根釧農業試験場 地域技術グループ 堂腰 顕氏まで(0153-72-2004)にお問い合わせ下さい。

※詳細については、農林水産省のホームページをご参照ください。

⇒http://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/hito_nouchi.html

(株)日本政策金融公庫 広島支店 農林水産事業

所在地: 〒730-0031 広島市中区紙屋町1-2-22 広島トランヴェールビルディング6階

TEL:082-249-9152 FAX:082-249-9102

○相談窓口も以下の場所で開催しております。

三次相談窓口(3月は5日と19日)

場所:三次農業協同組合本店

庄原相談窓口(3月は6日と20日)

場所:庄原農業協同組合本店

福山相談窓口(3月は14日)

場所:日本政策金融公庫福山支店

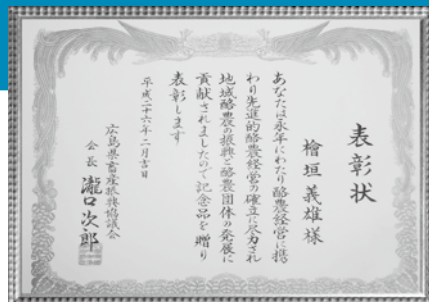
※予約制で開催しております。ご来店の際は事前にご連絡をお願いいたします。

祝・檜垣義雄さん 広島県畜産振興協議会「功労者表彰」受賞



広島県畜産振興協議会(会長 瀧口次郎)は、広酪が推薦した檜垣義雄氏(東広島市志和町)に対して、功労者表彰を授与されました。

檜垣組合員は「志和酪農業協同組合」の代表理事に就任され、平成6年の広酪発足にあたり尽力され、以後、平成25年までの長期にわたり理事として組織運営に加わり、地域では堆肥センターや協議会活動など農業振興に尽力されました。受賞おめでとうございます。



広島県からの
お知らせ

性判別・受精卵を取り入れた酪農経営

～三次市作木町 橋本牧場 橋本圭介さん～



性判別精液の積極的な利用と受精卵移植を組み合わせ、計画的な交配を実践する橋本牧場。和牛ET子牛の販売を「酪農経営の重要な柱の一本」と位置付けて戦略的な経営を展開する橋本牧場を紹介します。

◆橋本牧場の目指す酪農経営

飼料の高騰等経営環境の変化や休みのない労働条件などに振り回されない経営を目指されており、牛を健康に飼養して最大限の能力を引き出せるような環境を整えることに重点を置かれている。

現在、橋本牧場の搾乳牛飼養頭数は30頭と多くはないが、1頭当たりの年間産乳量は11,500kgであり、質の高い経営を実践しておられる。

◆交配の基本スタンス

性判別精液の積極的な活用により、計画的に後継牛を確保されている。これにより、年間10頭程度の和牛ETに取り組まれている。「ホル雄は安価で価格が安定しない。和牛ET子牛の価格は魅力的。和牛ETは、間違いなく、これからの酪農経営に欠かせない重要な柱の一本となる。ホル雄をいかに和牛ET子牛に切り替えていくかがポイント」と圭介さん。

◆受精卵移植師として

平成24年2月には、自ら受精卵移植師の資格を取得、自農場で理想とする交配を実践するとともに、家畜人工授精所「Hashimoto Breeding Service」を開設し、他酪農家における和牛ETの普及にも尽力されている。酪農ヘルパーの経験もあり、他の酪農家からの信頼も厚い。また、繁殖技術を向上するため、県畜産事務所の指導のもと、日々精進されている。

◆関係機関との連携

交配では、自然発情を待つという受身のスタンスだけではなく、民間獣医師の処置による発情誘起にも積極的に取り組んでおられる。「少しでも栄養バランスが悪くなると発情は微弱となり、発見は困難。発情を一度見落とすと、種付がさらに21日も遅れる。この間の飼料代は無駄な経費。処置により計画的な交配が可能、また自然発情よりも受胎率が高いと思う。21日間の飼料代を考えると処置費用の方が安いのでは」と圭介さん。

また、自農場の優秀な搾乳牛の後継牛を確保するため、県立畜産技術センターと連携して雌判別受精卵の活用にも積極的に取り組んでおられ、圭介さんの探究心は旺盛だ。

◆これからの酪農

「TPPの影響で、より一層厳しい経営が強いられる。経営を存続するためには、自給飼料の確保等、より一層のコスト削減はもちろんのこと、乳代以外にも収入を確保する方法を獲得すべき。酪農経営にとって、和牛ET子牛の販売は必要不可欠となる」と圭介さん。

TPP参加の影響は計り知れませんが、強健な酪農経営を確保するためにも、経営の柱の一本として、和牛ETに取り組んでみませんか。お問い合わせは下記までお気軽に。



広島県

西部畜産事務所(082-423-2441) 北部畜産事務所(0824-72-2015)
 東部畜産事務所(084-921-1311) 県庁畜産課(082-513-3598)



らくのうだより 広島

2014年(平成26年)2月[No.239]

広酪メンバーズクラブ

4/24
25山延伊久江さん「意見体験発表大会」出場決定
みんなで応援に行こう!!

広酪メンバーズクラブ(委員長 井上正芳)は、第45回西日本酪農青年女性会議酪農発表大会「意見・体験発表の部」の発表者に山延伊久江さん(東広島市志和町)を選出しました。

ぜひ皆さんで応援に行きましょう!



■日時:平成26年4月24日(木)~25日(金)

■場所:兵庫県洲本市小路谷20

『ホテル ニューアワジ』 電話0799-23-2200

■日程:詳細日程等が決定次第ご連絡します。

■経営発表の部:淡路島酪農協 岡本孝史氏

おかやま酪農協青年部 出射清和氏

大山乳業農協青年部 小谷利夫氏

■意見・体験発表の部:広酪メンバーズクラブ 山延伊久江さん

おかやま酪農協女性部 小倉越子さん

■参加費:宿泊(全日程) 18,000円/人 懇親会まで 12,000円/人

発表会のみ 3,000円/人

■問い合わせ先:広酪メンバーズクラブ事務局

広酪事業推進課 坂田 電話0824-64-2072

3/23
(日)

「第33回ひろらくB&Wショウ」開催

多数のご来場をお待ちしています

20頭
出場予定

広酪ホルスタイン改良同志会主催の「第33回ひろらくB&Wショウ」を開催します。

共進会は乳牛の改良度合を競うだけでなく、これらの相互確認や情報交換、交流の場としての位置づけもあり、同志会では「生産者や消費者の顔が見える共進会」として、牛乳・乳製品の消費拡大PRも含めて盛り上げていきたいと考えています。

昼食には焼肉も準備しておりますので、是非ご家族そろって、お誘いあわせのうえで観覧下さい。



■日時:平成26年3月23日(日)午前10時 ■場所:全農広島県本部三次家畜市場/三次市西酒屋町大久保511

同志会の窓

1/24 ホテル比婆荘

改良同志会中部支部 新代表に檜高侑祐さん

広酪ホルスタイン改良同志会中部支部(代表 道下伸雄)は、平成25年度通常総会を開催し、10名が出席した。総会では「平成25年度事業報告並びに収支実績報告」、「平成26年度事業計画並びに収支予算案」、「役員改選」を協議し、原案どおり可決承認した。役員改選では代表に檜高侑祐(三次市)さん、監事に向田修実(高野町)さんが就任した。

総会終了後は懇親会が開催され、若いメンバーも参加する中で、飼養管理の苦労話や乳牛改良の話題に花が咲き、和やかに行われた。



3/18
(火)

県域女性交流会 自慢の地域と活動を紹介



ひろらく女性グループ連絡協議会(委員長 山延眞智子)は年に一度の県域単位の交流会を開催します。今年は「地域を紹介して、地域を参考にする。地・紹・地・参」と題して、各地域の観光名所、地域活動の情報交換を行います。多数ご参加ください。

- 開催日時：平成26年3月18日(火)午前11時30分～午後2時30分
- 開催場所：グランラッセ三次(平安閣) 三次市十日市南1丁目5-5 電話：0824-62-1234
- 参加対象：広酪組合員及びその家族で酪農女性組織に所属する会員及び組合員と同居の女性
- 主催：ひろらく女性グループ連絡協議会
- 後援：広島県酪農業協同組合／(一社)広島県酪農協会
- 内容：午前11時30分 受付開始 午前11時45分 開会
 (第一部) 地域活動等の紹介 「地域を紹介して、地域を参考にする。地・紹・地・参」
 (第二部) 会食をしながらの交流会
 午後2時30分 閉会
- 会費：1,000円/人(3月分支払乳代から控除)
- 駐車場：50台程度収容可能
- 交通手段：①西部・東部事業所を出発点とする参加者に限ってはマイクロバスの手配を予定しております。
 ②備北・南部地域の方は、各自の自家用車又は乗り合わせによりご来場下さい。
- 申込方法：別途通知文書を発送しておりますので、参加申込書を事業推進課又は最寄りの事業所に提出下さい。
- 参加締切：平成26年2月28日(金)
- 問い合わせ先：広酪事業推進課 担当：高松・山本 電話番号：0824-64-2072 FAX：0824-64-2233

お知らせ

3/7
(金)

多数のご参加をお待ちしております!!

酪農セミナー グランラッセ三次 ～演題：乳牛のための分娩管理～

酪農経営安定を図るには、乳用牛の栄養管理・繁殖管理・分娩管理などの飼養管理が重要です。

せっかく、栄養管理、繁殖管理が適正であっても分娩管理に問題が生じ、対象乳用牛を事故で失えば、経営者の精神的なショックとともに、酪農経営には大きなマイナスをもたらします。

今回の講演会は、「乳牛のための分娩管理」に焦点をあてた内容となっております。

各地域の酪農家の皆様が任意に組織されます酪農任意組織の構成員各位にも多数ご参加されますよう呼び掛けをお願いします。



- 開催日時：平成26年3月7日(金) 午前11時～午後3時
- 開催場所：グランラッセ三次 三次市十日市南1丁目5-5
- 演題：『乳牛のための分娩管理』
- 講師：帯広畜産大学 臨床獣医学 予防獣医療学分野
准教授 石井 三都夫 先生
- 主催：公益財団法人 森永酪農振興協会
- 共催：広島県酪農業協同組合